

答 申 書

写し

平成28年7月12日

阿賀野市長 田 中 清 善 様

阿賀野市水道事業審議会

会 長 小 林 龍 幸

阿賀野市新水道ビジョン(案)の策定について (答申)

平成28年4月26日付け阿水第117号により諮問を受けた「阿賀野市新水道ビジョン(案)の策定」について、下記のとおり答申します。

記

阿賀野市水道事業を取り巻く環境は、全国の水道事業体が抱える課題と同様に、人口減少による給水収益の減少や施設の更新・耐震化のための投資費用の増加などにより年々厳しさを増しているようであります。

しかしながら、水道は市民生活に欠かすことのできないライフラインであるため、将来にわたり安心・安全な水道水を安定的に供給し続けていく必要があります。

このたび策定された新水道ビジョン(案)は、今後10年間の阿賀野市水道事業運営について「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、現状の課題と解決のための実現方策が体系的にわかりやすく整理されており、その内容は妥当であると判断します。

今後、当該ビジョンに掲げる方策を進めていくにあたっては、情勢の変化にも柔軟に対応されるとともに、以下の事項について、十分配慮されることを要望します。

- 1 水源としての阿賀野川及び渡場地下水の水質が悪化しても、水道水の安全性を確保し、安心して飲める水道を目指してもらいたい。

- 2 地震などが発生しても、長期間断水することがない災害に強い水道を目指してもらいたい。
- 3 給水収益が減少している状況でも、経営の改善・合理化を一層徹底し安定した事業運営を目指してもらいたい。
また、いずれ必要となる水道料金改定には、低い改定率でも効果が大きく、市民からの抵抗感が少ない改定内容を検討してもらいたい。